

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(21)

平成 26 年 6 月 27 日

村山 章

私たちは何のために仕事をするのでしょうか。多くの方は生活の糧を得るためとお答えになるのではないのでしょうか。今から半世紀ほど前は、食べる物が充分にありませんでした。正に生活の糧を得るために必死で働きました。仕事に対するひたむきさは、高度成長時代の日本を支えてきました。そして現在はどうか。日本は生活が豊かになって「飽食の時代」と言われるようになり、それが健康状態に影響を与えて二人に一人は癌になり、三人に一人は糖尿病になるという、全く信じられないような時代となりました。

ビジネスに関する文章では、いまだに「仕事とは？」というテーマを見かけます。仕事をして報酬を得ることはもちろん大切ですが、仕事を通して自分自身が成長していくことはもっと大切なのではないのでしょうか。そして仕事を通して社会に少しでも貢献することが、私たちの心の豊かさに通じるのではないのでしょうか。目先の損得にとらわれて雑な仕事をするよりも、自分が成し遂げた仕事でより多くの人喜んでくれたらこんな幸せなことはありません。やはり人間の幸せは人様に喜んでいただくことだと思います。お金の量と幸福は決して比例はいたしません。逆にお金の損得だけを考えて行動する人は醜い人だと思います。そんな生き様はやめましょう。自分の欲望に自分自身が振り回される人生なんて嫌ですね。そうなることなく、いかに自分の生き様を貫くかを大切にしたいものです。

生意気を申し上げました。とはいえ会社は利益を出さなければ発展はできません。社員の皆さまと共に成長し、会社を発展させていきたいと思っています。私は高級車を乗り回したり、ゴルフ三昧の人生はいたしません。お互いに成長し合える会社、愛情豊かな会社を築いていきたいと思っています。日本古来の文化、人様を大切に思う文化が今、求められているのではないのでしょうか。そして、そうした文化こそが世界をも救うのではないのでしょうか。